

3 アンケート結果の概要



※グラフの「N=」のNは、回答者数を表示しています。

1 教育・保育の提供

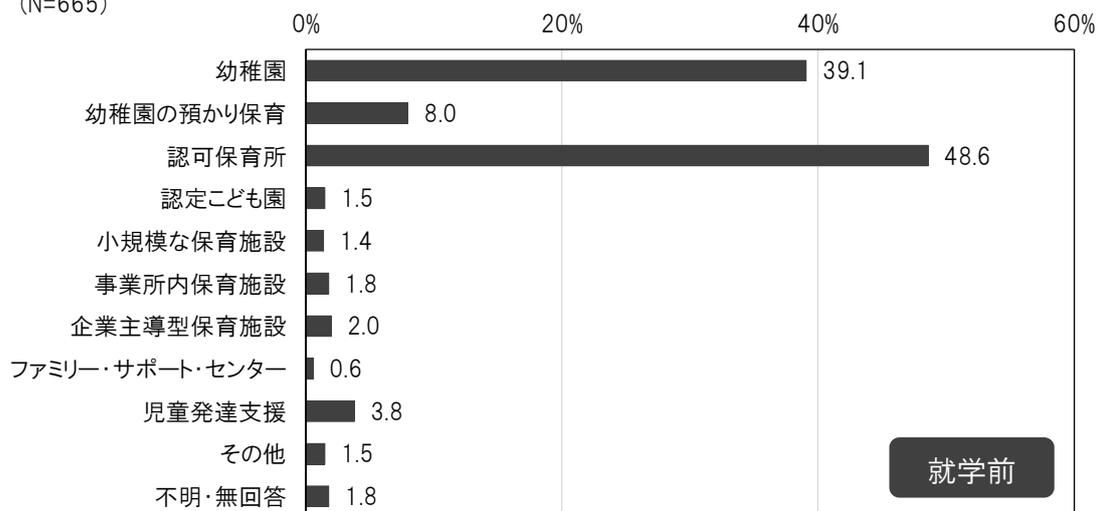
(1) 教育・保育事業について

①平日の定期的な教育・保育事業などの利用状況について

定期的な教育・保育事業の利用状況については、「認可保育所」「幼稚園」の割合が高くなっています。また、今後の利用希望について（次ページ参照）も、無償化前、無償化後ともに、「認可保育所」「幼稚園」の割合が高くなっています。

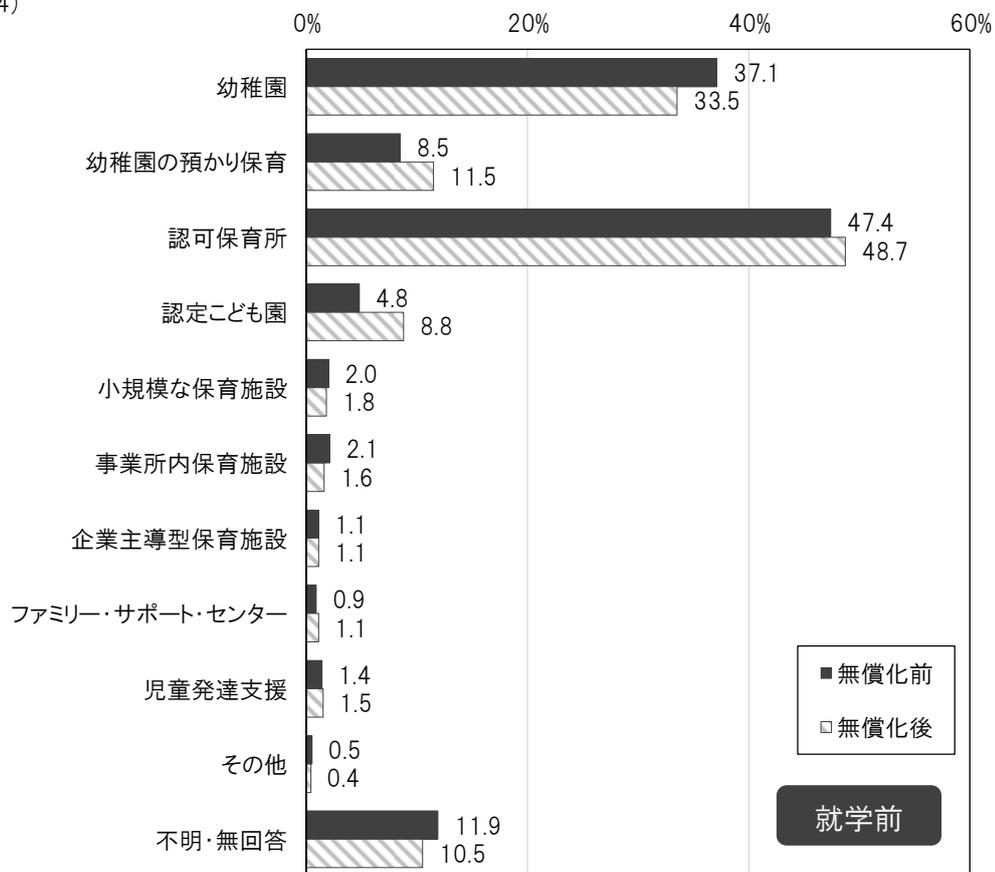
■平日の利用状況

〈複数回答〉
(N=665)



■無償化前、無償化後の平日の教育・保育事業の利用希望

〈複数回答〉
(N=854)



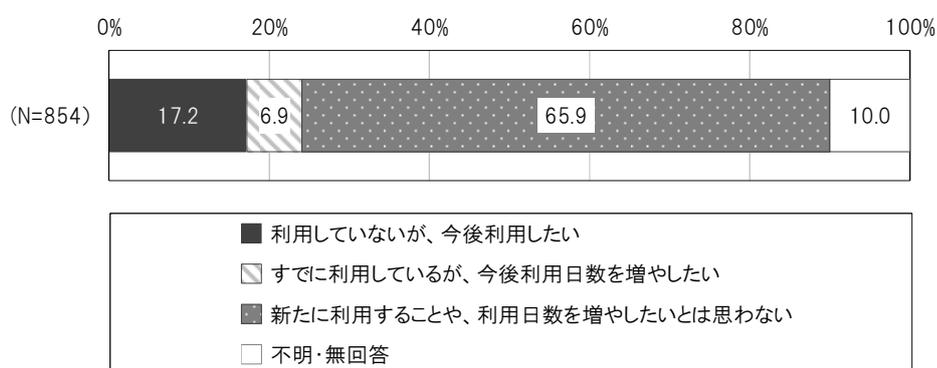
(2) 子育て支援事業について

①子育て支援事業の利用状況について

子育て支援事業の利用希望については、「新たに利用することや、利用日数を増やしたいとは思わない」が65.9%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が17.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が6.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が6.9%となっています。

■地域子育て支援事業の利用希望

〈単数回答〉



就学前

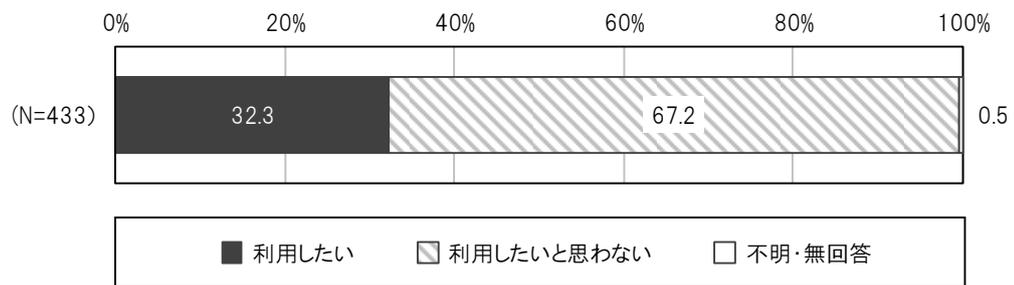
②病児・病後児保育について

病児・病後児保育施設などの利用希望については、就学前、就学児ともに「利用したいと思わない」の割合が高くなっています。また、「利用したい」と回答した人の割合は、就学児よりも就学前の方が高くなっています。

■病児・病後児保育施設などの利用希望

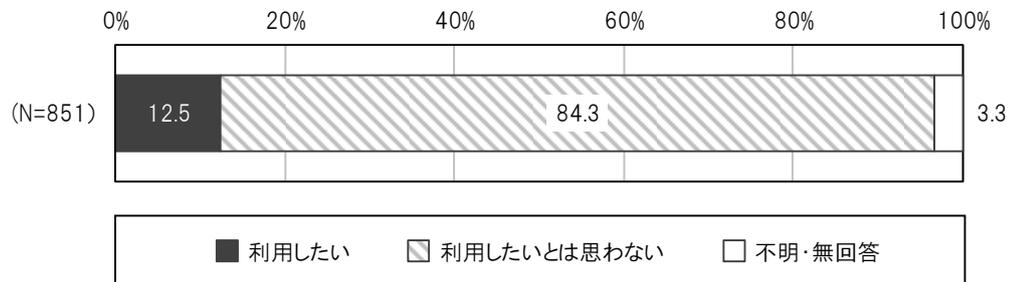
就学前

〈単数回答〉



就学児

〈単数回答〉



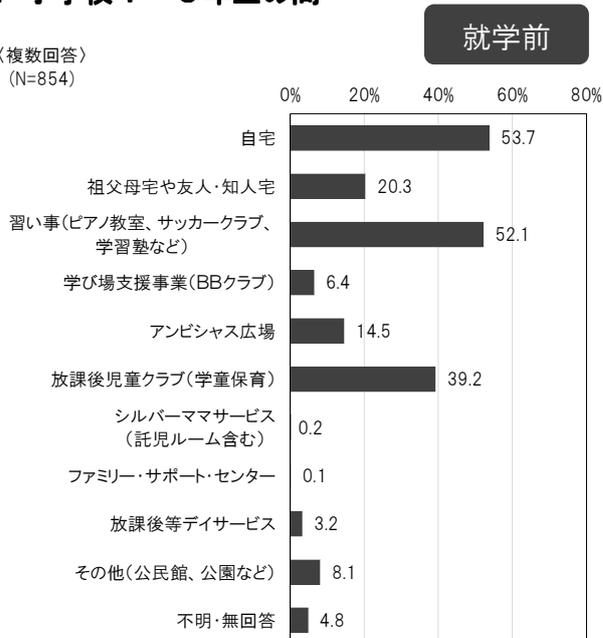
③放課後の過ごし方について

放課後の過ごし方の希望については、就学前、就学児の1～3年生、4～6年生ともに「自宅」が最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」となっています。

■放課後の過ごし方の希望

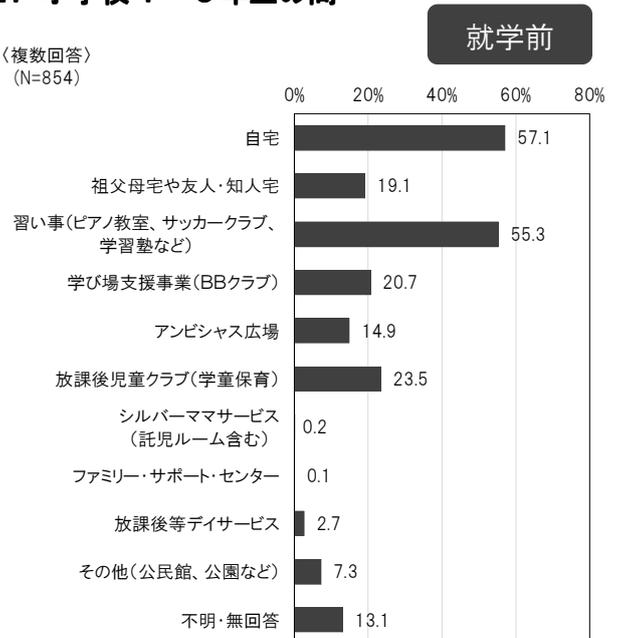
1. 小学校1～3年生の間

〈複数回答〉
(N=854)



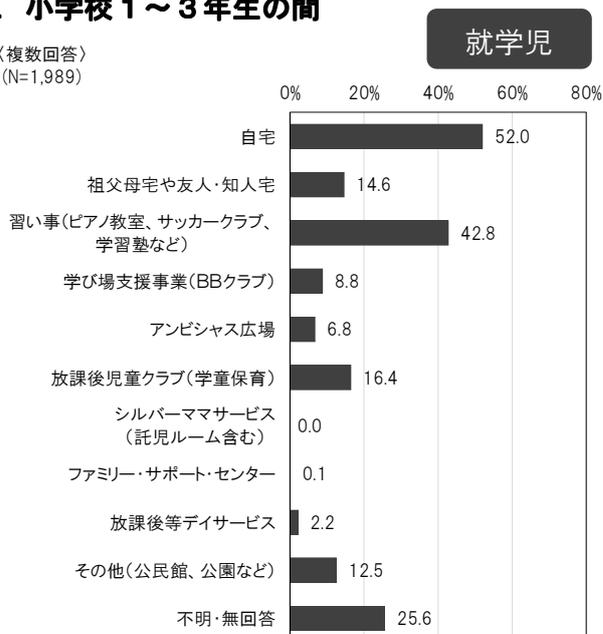
2. 小学校4～6年生の間

〈複数回答〉
(N=854)



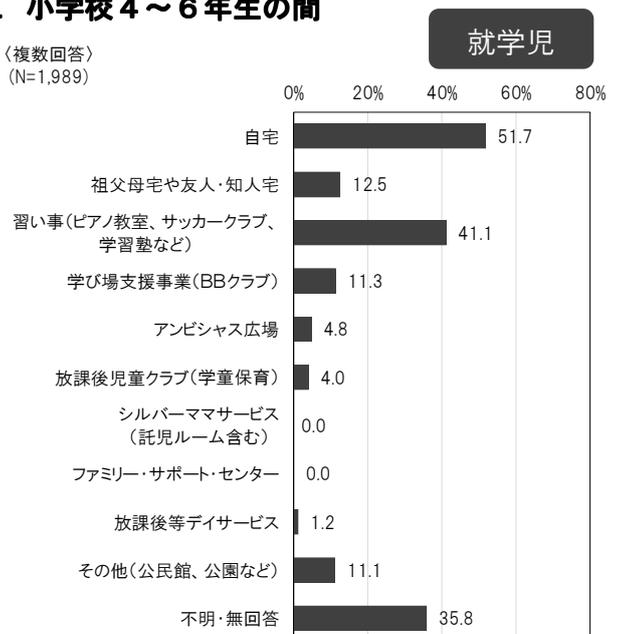
1. 小学校1～3年生の間

〈複数回答〉
(N=1,989)



2. 小学校4～6年生の間

〈複数回答〉
(N=1,989)



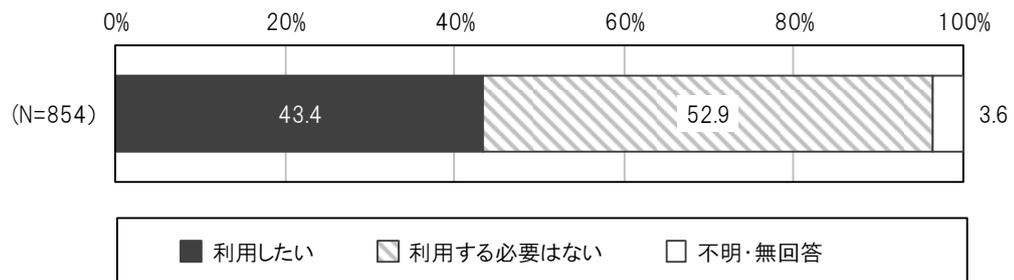
④お子さんの「不定期」の預かりなどの利用について

一時預かりなどの利用希望については、就学前、就学児ともに「利用する必要はない」の割合が高くなっています。また、「利用したい」と回答した人の割合は、就学児よりも就学前の方が高くなっています。

■一時預かりなどの利用希望

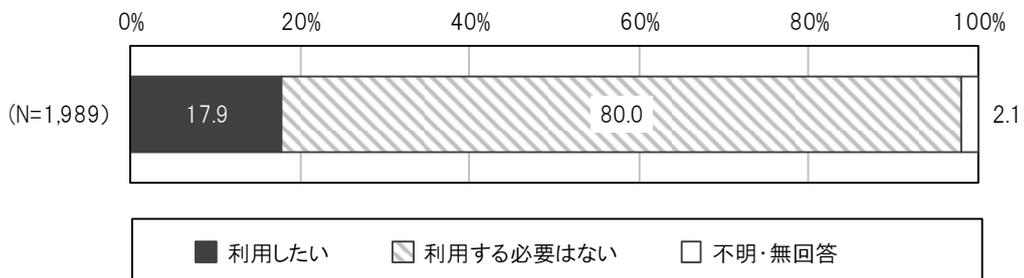
就学前

〈単数回答〉



就学児

〈単数回答〉



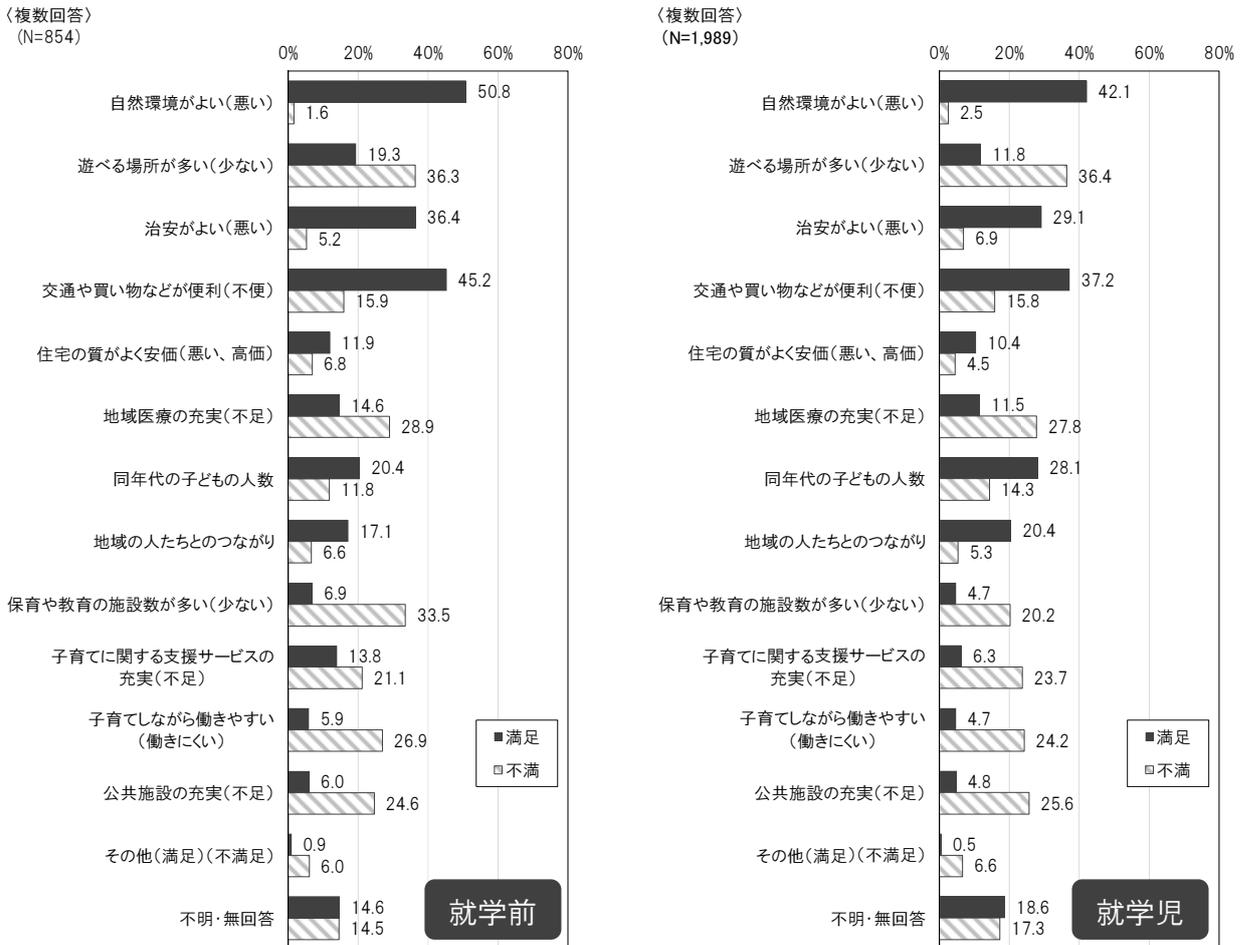
2 地域の中の子育て環境づくり

①これからの子ども・子育て支援全般について

満足な点では、就学前、就学児ともに「自然環境がよい」が最も高く、次いで「交通や買い物などが便利」となっています。

不満な点では、就学前、就学児ともに「遊べる場所が少ない」が最も高く、次いで、就学前では「保育や教育の施設数が少ない」、就学児では「地域医療の不足」となっています。

■子育ての環境や支援についての満足な点、不満な点



3 仕事と子育ての両立支援

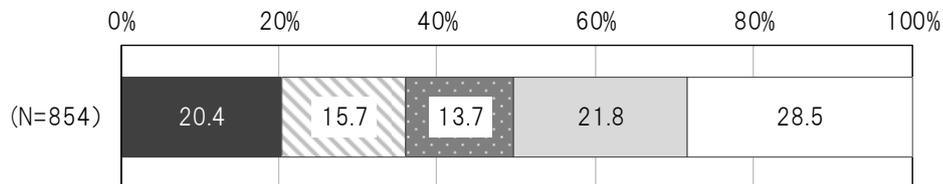
①母親の就労状況について

母親の1年以内の就労の希望については、就学前では「専業主婦（夫）又は就労していない」が最も高く、次いで「フルタイム【週5日 1日8時間程度】 ※時短含む」となっています。就学児では「パート・アルバイト【月64時間以上】」が最も高く、次いで「フルタイム【週5日 1日8時間程度】」となっています。

■ 1年以内の希望

就学前

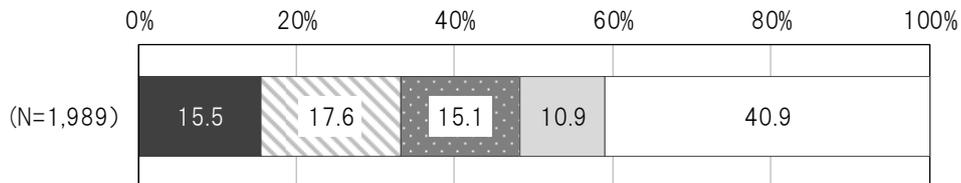
〈単数回答〉



- フルタイム【週5日・1日8時間程度】 ※時短含む
- ▨ パート・アルバイト【月64時間以上】
- ▤ パート・アルバイト【月64時間未満】
- 専業主婦(夫)又は就労していない
- 不明・無回答

就学児

〈単数回答〉



- フルタイム【週5日・1日8時間程度】
- ▨ パート・アルバイト【月64時間以上】
- ▤ パート・アルバイト【月64時間未満】
- 専業主婦(夫)または就労していない
- 不明・無回答

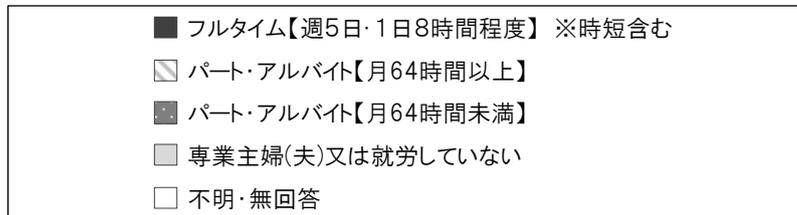
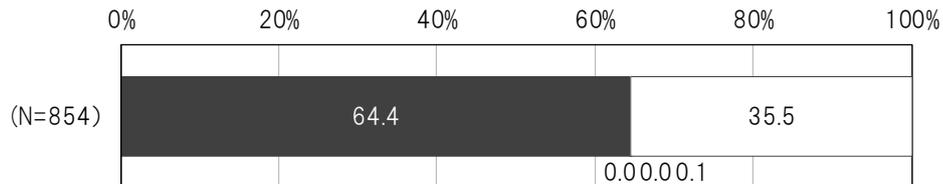
②父親の就労状況について

父親の1年以内の就労の希望については、就学前・就学後ともに「フルタイム【週5日1日8時間程度】 ※時短含む」が最も高くなっています。

■ 1年以内の希望

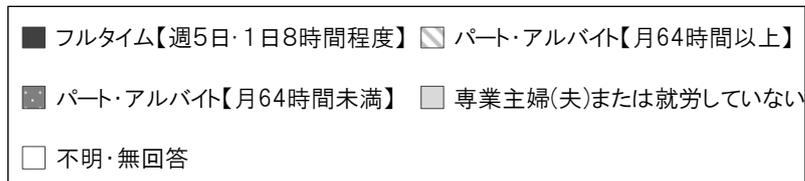
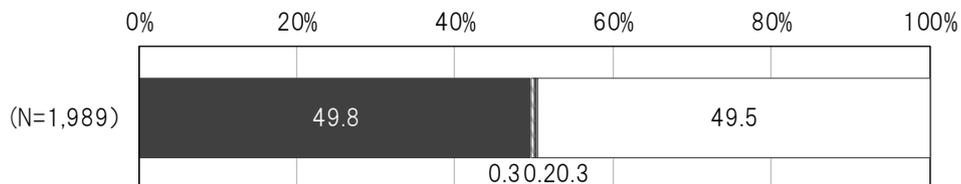
就学前

〈単数回答〉



就学児

〈単数回答〉



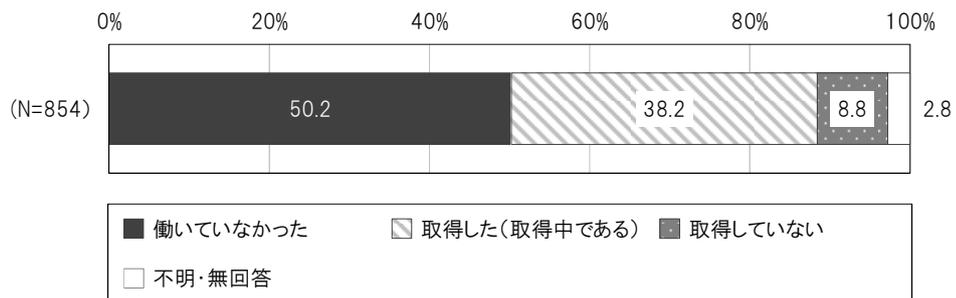
③育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

母親の育児休業の取得状況については、「働いていなかった」が50.2%と最も高く、過半数を占めています。また、「取得した（取得中である）」が38.2%、「取得していない」が8.8%となっています。

■育児休業を取得したか 母親

就学前

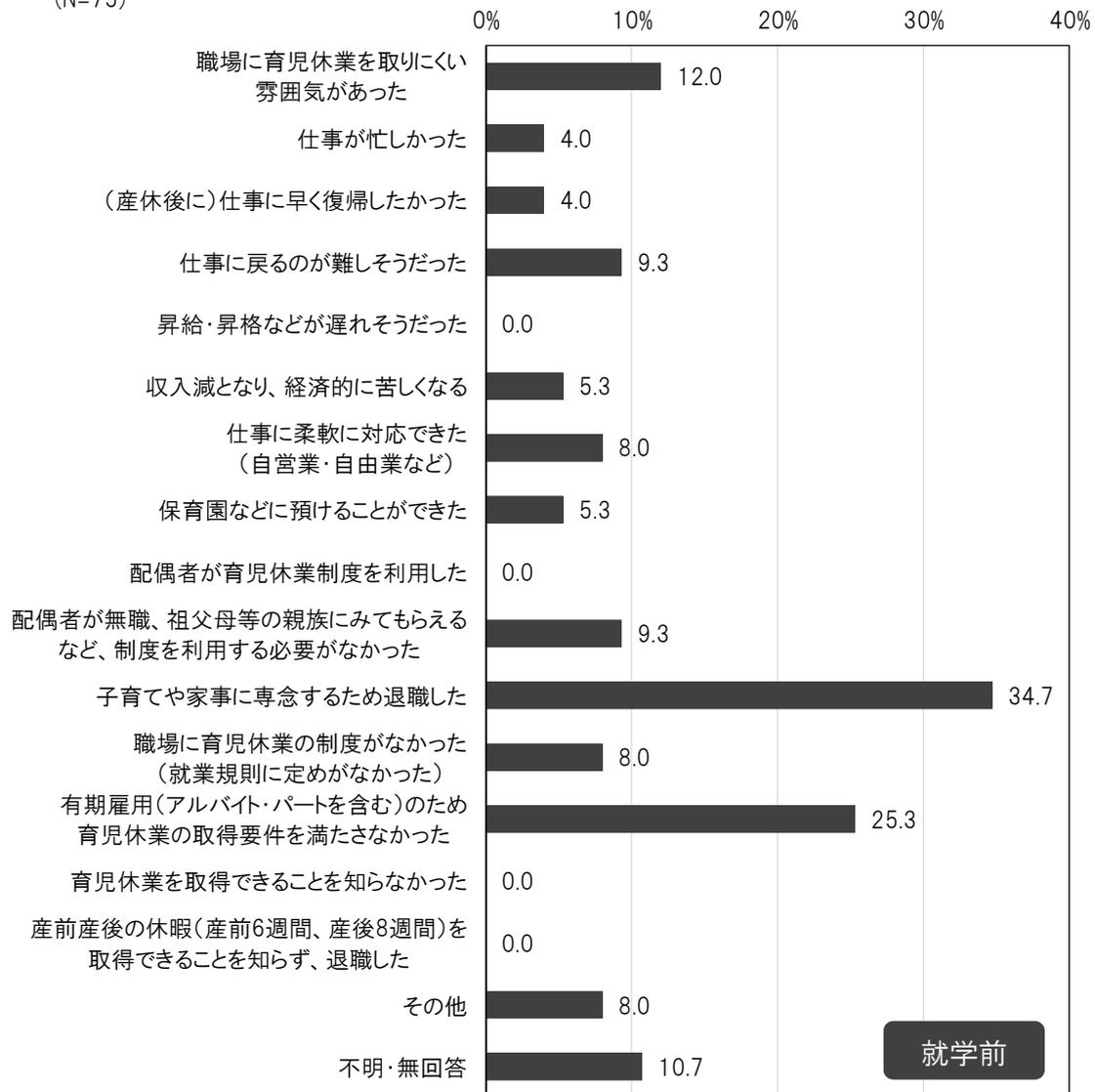
〈単数回答〉



母親の育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が34.7%と最も高く、次いで「有期雇用（アルバイト・パートを含む）のため育児休業の取得要件を満たさなかった」が25.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が12.0%となっています。

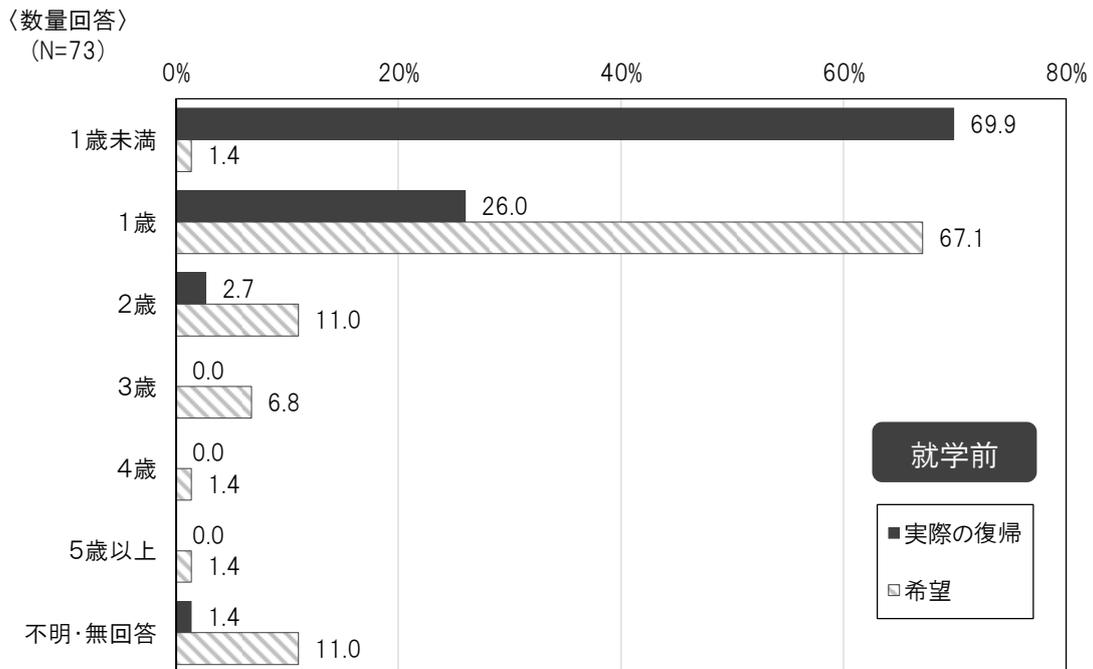
■育児休業を取得していない理由 母親

〈複数回答〉
(N=75)



育児休業からの実際の復帰時期と希望の復帰時期については、実際の復帰時期は「1歳未満」が69.9%と最も高くなっています。また、希望の復帰時期は「1歳」が67.1%と最も高くなっており、実際は希望よりも早く復帰している状況がうかがえます。

■育児休業からの復帰はお子さんが何歳の時だったか。また、希望の復帰時期は何歳の時だったか。

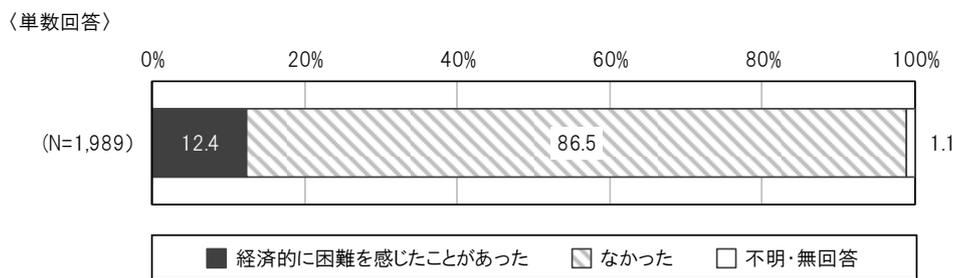


4 子育て家庭の生活状況

①経済的に困難を感じた経験について

過去一年間に、お金が足りなくて、「家族が必要とする食糧」もしくは「電気やガスなど公共料金」が買えなかった・払えなかった経験があった人を「経済的に困難を感じた人」として集計すると、経済的に困難を感じた経験については、「なかった」が86.5%、「経済的に困難を感じたことがあった」が12.4%となっており、約1割の方が困難を感じたことがあると回答しています。

■経済的に困難を感じた経験の有無

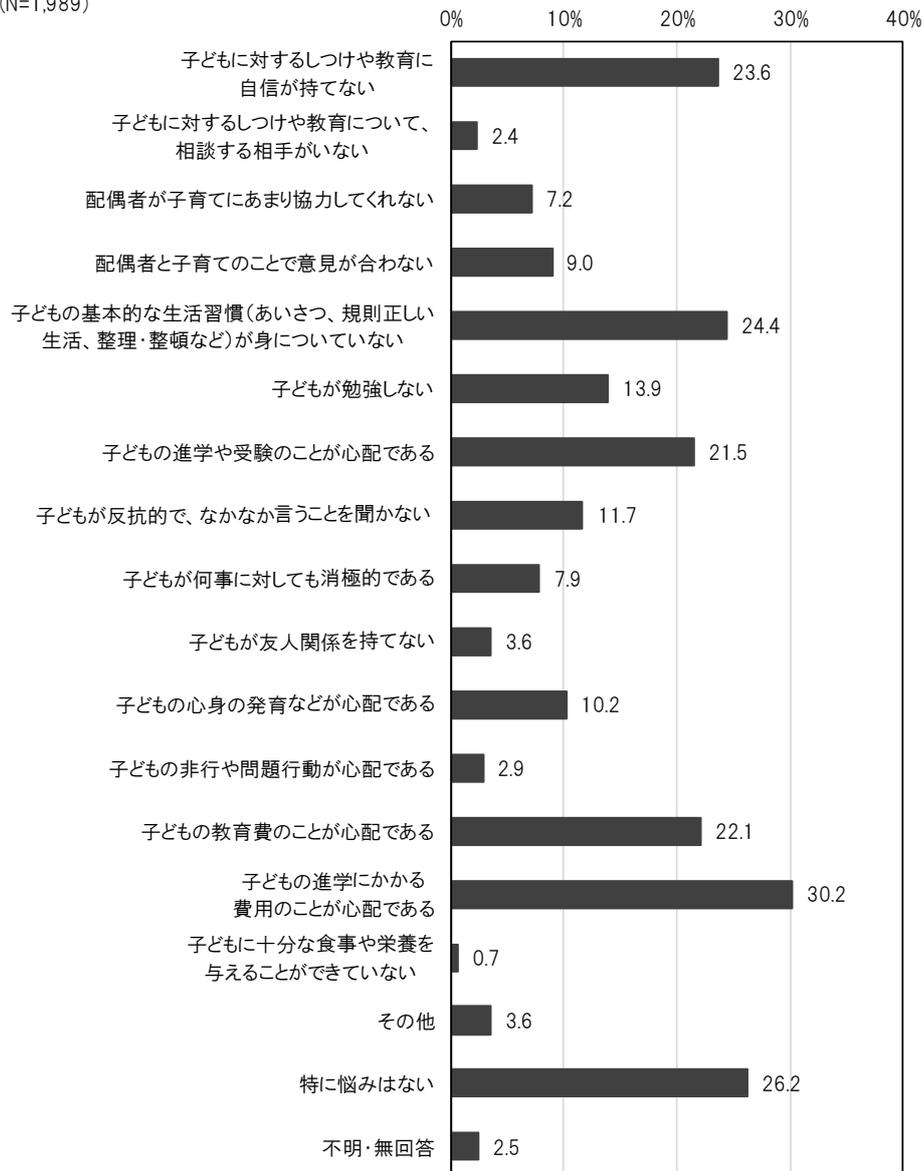


②保護者の悩みやその相談先について

子どもについて悩んでいることがあるかについては、「子どもの進学にかかる費用のことが心配である」が30.2%と最も高く、次いで「特に悩みはない」が26.2%、「子どもの基本的な生活習慣（あいさつ、規則正しい生活、整理・整頓など）が身につけていない」が24.4%となっています。

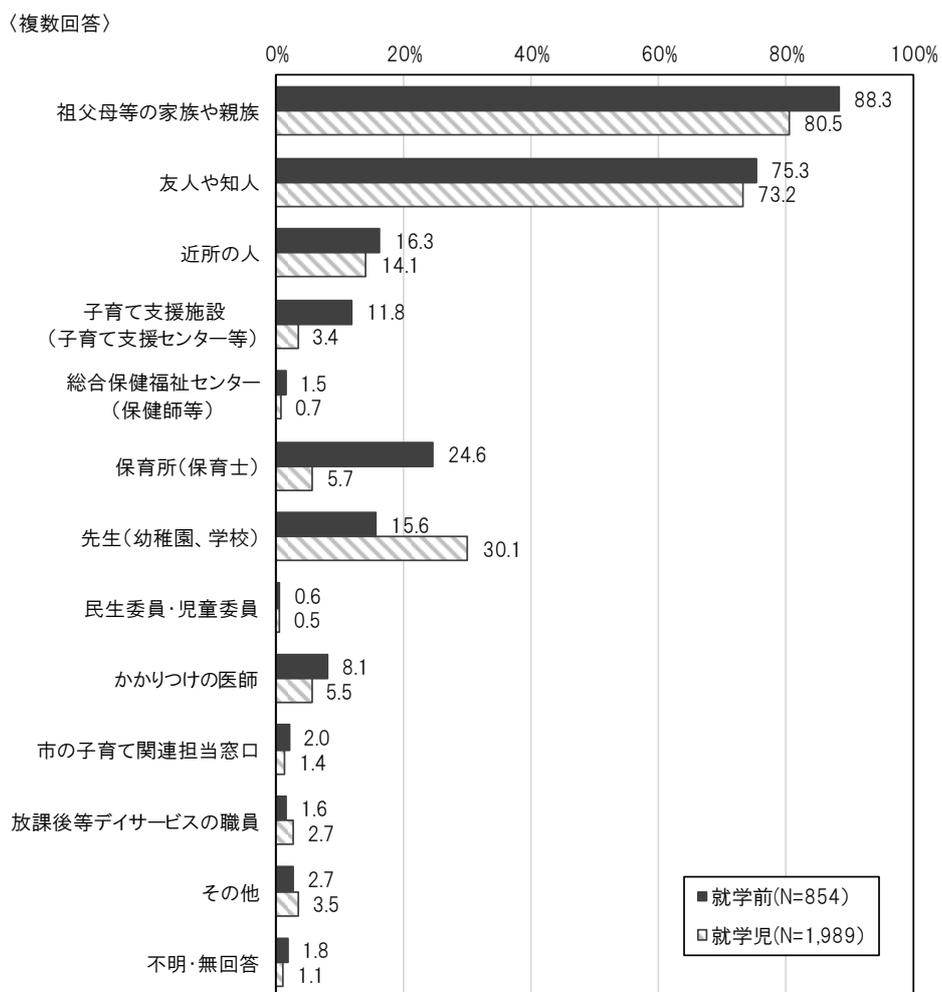
■お子さんについて、現在悩んでいること

〈複数回答〉
(N=1,989)



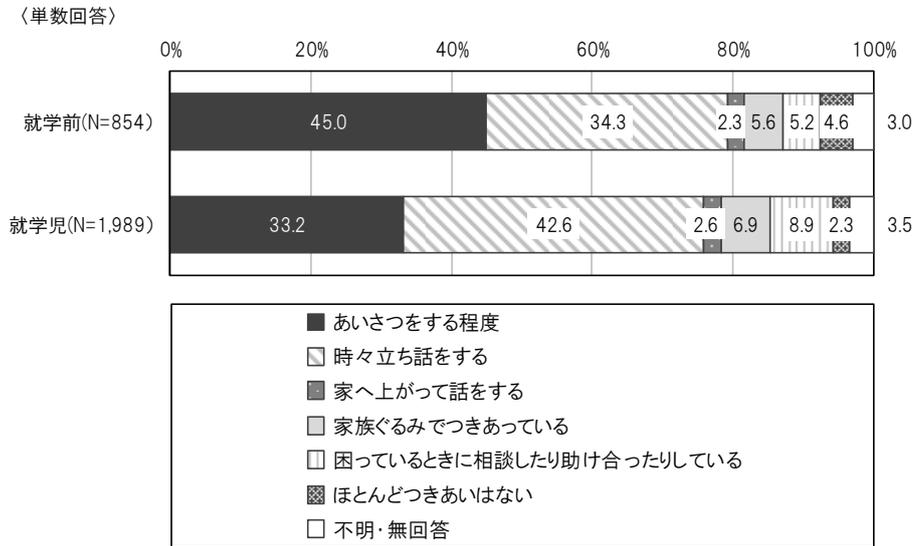
子育て（教育を含む）に関しての相談先については、就学前、就学児ともに「祖父母等の家族や親族」が最も高く、次いで「友人や知人」となっています。また、就学前では「保育所（保育士）」、就学児では「先生（幼稚園、学校）」の割合も高くなっています。

■お子さんの子育てについて、気軽に相談できる相手



近所付き合いの状況については、就学前では「あいさつをする程度」が45.0%、就学児では「時々立ち話をする」が42.6%と最も高くなっています。

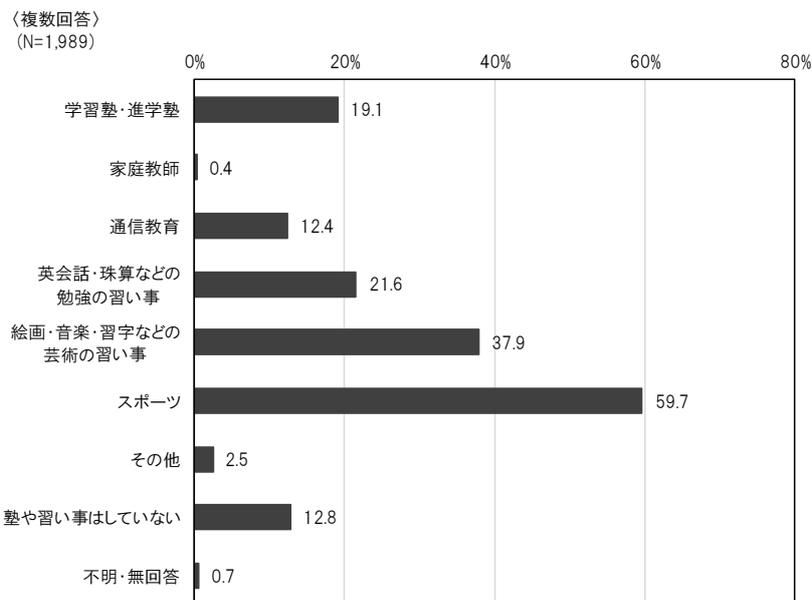
■近所や地域の人との付き合いの程度



③子どもの習い事について

就学児の習い事については、「スポーツ」が59.7%と最も高く、次いで「絵画・音楽・習字などの芸術の習い事」が37.9%、「英会話・珠算などの勉強の習い事」が21.6%となっています。また、「塾や習い事をしていない」と回答した理由については、「子どもが「やりたい」と言わないから」が50.2%と最も高く、次いで「習わせる経済的なゆとりがないから」が36.9%、「習い事の送迎ができないから」が28.6%となっています。

■お子さんについて、現在塾に通ったり、習い事をしたりしているか



■お子さんについて、塾に通ったり、習い事をしたりしていない理由

